

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成27年12月10日 (2015.12.10)

【公表番号】特表2014-530563(P2014-530563A)

【公表日】平成26年11月17日 (2014.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-063

【出願番号】特願2014-531861(P2014-531861)

【国際特許分類】

H 0 4 N 19/436 (2014.01)

H 0 4 N 21/2343 (2011.01)

H 0 4 N 21/431 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 19/436

H 0 4 N 21/2343

H 0 4 N 21/431

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月21日 (2015.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リモート・プレゼンテーション・セッション・データーのフレームを R G B フォーマットから Y U V フォーマットに変換して Y U V フレームを生成するステップと、

前記 Y U V フレームを Y 成分フレーム、U 成分フレーム、および V 成分フレームを含む 3 つの別々のフレームに変換するステップと、

前記 Y、U、および V 成分フレームのそれぞれを、第 2 サブサンプリング方式でフレームをエンコードするように構成されているが第 1 サブサンプリング方式でフレームをエンコードするようには構成されていないエンコーダーを用いて前記第 2 サブサンプリング方式で別々にエンコードするステップであって、前記第 2 サブサンプリング方式は、フレームのピクセル値の部分集合をサブサンプリングすることを含み、前記第 1 サブサンプリング方式は、フレームの各ピクセル値を個別にサブサンプリングすることを含む、ステップと、

前記エンコードされた Y、U、および V 成分フレームをリモート・プレゼンテーション・セッション・プロトコルのビット・ストリームにエンコードするステップと、

リモート・プレゼンテーション・セッションを介して前記ビット・ストリームをクライアント・コンピューターへ送るステップであって、前記クライアント・コンピューターは、前記ビット・ストリームをデコードして前記 Y、U、および V 成分フレームのそれぞれの表現を生成し、前記 Y、U、および V 成分フレームのそれぞれの前記表現を、前記クライアント・コンピューターがディスプレイ・デバイス上に表示する前記 Y U V フレームの表現に組み合わせる、ステップと、

を含む方法。

【請求項 2】

前記 Y、U、および V 成分フレームのそれぞれを前記エンコーダーを用いて前記第 2 サブサンプリング方式でエンコードするステップは、前記 Y、U、および V 成分フレームのそれぞれを H . 2 6 4 イントラ・エンコーダーを用いて 4 : 0 : 0 サブサンプリング方式でエンコードするステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 Y、U、および V 成分フレームのそれぞれを前記エンコーダーを用いて前記第 2 サブサンプリング方式でエンコードするステップは、

前記 Y、U、および V 成分フレームのそれぞれをエンコードするためのイントラ予測のレベルを決定するステップと、

前記イントラ予測のレベルに基づいて、前記エンコーダーを用いて前記 Y、U、および V 成分フレームのそれぞれをイントラ予測エンコードするステップと、

を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記イントラ予測のレベルを決定するステップは、利用可能な計算リソースの量に基づいて前記イントラ予測のレベルを決定するステップを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記エンコードされた Y、U、および V 成分フレームを量子化するための量子化量を決定するステップと、

前記エンコードされた Y、U、および V 成分フレームを前記リモート・プレゼンテーション・セッション・プロトコルのビット・ストリームにエンコードする前に、前記エンコードされた Y、U、および V 成分フレームを量子化するステップと、

を更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記エンコードされた Y、U、および V 成分フレームを量子化するための前記量子化量を決定するステップは、前記 Y 成分フレームを量子化するための第 1 量子化量と、前記 U および V 成分フレームを量子化するための第 2 量子化量とを決定するステップであって、前記第 1 量子化量は前記第 2 量子化量よりも少ない量子化である、ステップを含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記エンコードされた Y、U、および V 成分フレームを量子化するための前記量子化量を決定するステップは、前記ビット・ストリームの目標ビット・レートに基づいて、前記エンコードされた Y、U、および V 成分フレームを量子化するための前記量子化量を決定するステップを含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記フレームがテキストを表すグラフィック・データを含むと判定することに基づいて、前記フレームを前記 Y 成分フレーム、前記 U 成分フレーム、および前記 V 成分フレームに変換するステップを更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

R G B フォーマットの第 2 フレームを受け取るステップと、

前記第 2 フレームが前記第 1 サブサンプリング方式よりも少ないサブサンプリングを必要とするサブサンプリング方式でなされていることに基づいて、前記フレームを第 2 Y 成分フレーム、第 2 U 成分フレーム、および第 2 V 成分フレームに変換しないことを決定するステップと、

前記第 2 フレームを Y U V フォーマットに変換するステップと、

前記変換された第 2 フレームを前記エンコーダーを用いてエンコードするステップと、

前記エンコードされた第 2 フレームを前記リモート・プレゼンテーション・セッション・プロトコルのビット・ストリームにエンコードするステップと、

前記リモート・プレゼンテーション・セッションを介して前記ビット・ストリームを前記コンピューターへ送るステップであって、前記コンピューターは、前記ビット・ストリームに基づいて前記第 2 フレームの表現を前記ディスプレイ・デバイス上に表示する、ステップと、

を更に含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 サブサンプリング方式は、4 : 4 : 4 サブサンプリング方式を含み、前記第 2

サブサンプリング方式は、4 : 2 : 2、4 : 2 : 0、または4 : 0 : 0 サブサンプリング方式を含む、請求項 1 に記載の方法。